

教科・分野	週時間数	クラス	生徒数	担当者
美術・工芸	1	A～E	44	小林
目 標	美術を鑑賞することと表現することで、美の本質を考え、その豊かさと楽しさに触れることで、創造力を育み、個性を伸ばすことを目標とする。			
大切に育てたいもの	<ol style="list-style-type: none"> 1. 造形的な創造活動の能力を伸ばすことを大切にしています。 2. 創造することの喜びを感じることを大切にしています。 3. 美術を愛好する心情を育んでいくことを大切にしています。 			

学期	考査	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期		<p>工芸・デザイン</p> <p>「和菓子をプロデュース」 和菓子をきっかけに日本独自の文化に触れ、それらを意識しながら粘土でオリジナルの和菓子を制作する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 和菓子の知識や特徴を学び、そこから日本人のものの感じ方や捉え方について理解する。 2. 季節から連想するものをイメージし、シンプルで美しい和菓子の形を考え、アイデアを練る。 3. 紙粘土を使って、実際の和菓子作りと同じように作品を制作しながら、和菓子作りの奥深さや粘土による造形を楽しみ、親しむ。 4. 完成した作品を互いに鑑賞し、他者の作品の良さを感じ取る。
二学期		<p>絵画</p> <p>「フレスコの技法で静物画を描く」 フレスコ画とキリスト教徒のか関わりについて学んだ上で、石膏版にアクリル絵の具を使って静物画を制作する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教とフレスコ画の関わりについて学習し、キリスト教と芸術の繋がりについて理解する。 2. 実際に描くモチーフを本制作の前にクロッキーし、形をとる練習をすることで本制作へ繋がるモチーフの見方や捉え方を身につける。 3. モチーフを観察しながら石膏版に描くことで、素材の特徴や面白さを感じ取り、フレスコ画の奥深さを理解し、感じ取る。 4. 完成作品は互いに鑑賞し、他者の作品の良さを感じ、考える。
三学期		<p>工芸・デザイン</p> <p>「ペーパークイリングの制作」 ペーパークイリングの技法とキリスト教、ヨーロッパ文化との繋がりを理解した上で、実際に、技法を試しながら作品を制作する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ペーパークイリングという技法や、その歴史、キリスト教やヨーロッパの文化との繋がりについて学び、理解する。 2. ペーパークイリングの基本的な技法を学んだ上で実際に試しながら練習し、自分の制作したいテーマを考え、アイデアを練る。 3. アイデアを元に、ペーパークイリングのパーツを作成し、見栄えの美しさや自分のイメージを意識しながら、作品を制作する。 4. 完成した作品を互いに鑑賞する。
		授業で制作した作品、アイデアスケッチ等を描いた提出物から評価する。	

学習活動の特徴	市販品ではなく、オリジナルに開発した教材を使用している。
授業の形態	スライドや図版を使った作品鑑賞と実習授業
使用教科書	高校美術1 日本文教出版
使用副教材	制作に使用する素材や、教材に関連した書籍、図版
用意するもの	美術セットほか
備 考	